

平成29年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 TEL 03-6403-5710

定時株主総会開催予定日 平成29年11月24日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日

有価証券報告書提出予定日 平成29年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	55,283	8.0	6,146	27.8	6,354	35.2	3,255	71.3
28年8月期	51,170	15.6	4,810	9.5	4,699	4.6	1,900	△ 9.5

(注) 包括利益 29年8月期 3,577 百万円 (71.6%) 28年8月期 2,085 百万円 (△17.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年8月期	174.50	—	18.5	16.5	11.1
28年8月期	104.71	—	14.1	14.6	9.4

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	43,690	22,663	49.6	1,065.46
28年8月期	33,517	14,272	40.4	755.09

(参考) 自己資本 29年8月期 21,660 百万円 28年8月期 13,557 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年8月期	9,457	△ 6,317	4,410	13,754
28年8月期	5,737	△ 6,122	532	6,249

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年8月期	—	15.00	—	17.00	32.00	582	30.6	4.3
29年8月期	—	18.00	—	18.00	36.00	697	20.6	4.0
30年8月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		20.2	

注) 1. 配当金総額には、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口(以下、「信託口」という。)に対する配当金(平成28年8月期7百万円、平成29年8月期8百万円)を含めております。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,207	8.7	3,338	6.0	3,334	1.9	1,827	1.2	89.86
通期	59,612	7.8	7,313	19.0	7,306	15.0	4,036	24.0	198.52

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積もりの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

29年8月期	20,575,000株	28年8月期	19,200,000株
29年8月期	245,409株	28年8月期	1,245,409株
29年8月期	18,656,514株	28年8月期	18,146,929株

※ 決算短信は監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の好調に支えられて景気全般に改善が見られた一方で、所得水準の向上は緩慢で消費の盛り上がりには繋がりませんでした。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

カラオケボックス市場は縮小に転じ始め、店舗の撤退や譲渡が相次ぐ一方で一部大手事業者への店舗集約が進み、業界内勢力図は変わりつつあります。

このような競争下を勝ち抜き成長を遂げていくために、国内では首都圏を中心としつつ全国の店舗網の充実に重点的に取り組むと共に、他社に無い当社独自の企画とサービスを充実させることに力を注いでおります。

高校生にフォーカスした「ZEROカラ」、シニアを中心対象とした「朝うた」、そしてコンテンツホルダーとのコラボ企画など、特定の顧客層や時間帯に照準を当てた各種施策の展開は、各々狙い通りの集客効果を発揮してきました。

更に今期は、店舗のお客様のご利用状況の変化に応えるために、営業時間や料金設定および人員配置を個店毎にきめ細かく見直し、適正化を図りました。

きれいな空気の中で思い切り歌って頂こうと、首都圏一都三県全店で始めた全室禁煙は、ファミリー顧客やシニア顧客など健康を第一に考えるお客様に、ご好評を戴いております。

優れた個人経営店舗の特長であるきめ細かな接客と経営者目線でのより直向な店舗運営を目指し、社員独立制度を推進しておりますが、その独立者が運営する店舗は11店舗増えて30店舗となりました。

海外展開では、韓国に新業態のノレタウンを1店舗開設いたしました。

当連結会計年度末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比42店舗増加し499店舗、海外店舗数は24店舗（シンガポール10店舗、韓国14店舗）となっております。

国内店舗のリニューアルは37店舗終えております。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は296億14百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は20億50百万円（前年同期比75.1%増）となりました。

【カーブス】

病気に罹らず介護も要らず、いつまでも健康で楽しく過ごせる人生の実現を目指して、生涯仲間達と一緒に運動を続けられる習慣作りと場所の提供を行っております。運動習慣の無い方々に、その必要性和大切さを理解していただき、運動習慣を身につけていただくことで、会員数の継続的拡大を図り、店舗網の充実に努めています。

店舗での運動と相乗効果の高いプロテインの販売も順調に拡大し、会員向け物販も伸び、これらも業容の拡大に貢献しております。

当連結会計年度末の国内カーブス店舗数は前連結会計年度末比101店舗増加（増加率5.8%）し1,823店舗（内グループ直営店58店舗）に、会員数は49千人増加（増加率6.3%）し821千人となりました。

以上の結果、カーブスセグメントの売上高は237億20百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は46億72百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

【温浴】

集客施策のブラッシュアップと新コンテンツの導入を図ると共に、設備の省エネ化を更に推し進めることにより、温浴事業の質量両面に亘る経営改善に努めてまいりました。

以上の結果、温浴セグメントの売上高は16億37百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は1億22百万円（前年同期比58.2%増）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は3億12百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は1億26百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当連結会計年度の売上高は552億83百万円（前連結会計年度比8.0%増）、営業利益61億46百万円（同27.8%増）、経常利益63億54百万円（同35.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は32億55百万円（同71.3%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ101億72百万円増加し（前連結会計年度末比30.4%増）436億90百万円となりました。

（流動資産）

流動資産は75億51百万円増加し197億37百万円（同比62.0%増）となりました。これは主に、現金及び預金が74億80百万円増加したことなどによるものです。

（固定資産）

有形固定資産は20億7百万円増加し168億10百万円（同比13.6%増）となりました。これは主に、建物及び構築物が16億34百万円および車両運搬具及び工具器具備品が4億22百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は6億90百万円減少し16億70百万円（同比29.3%減）となりました。これは主に、のれんが3億94百万円およびソフトウェアが2億98百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は13億4百万円増加し54億72百万円（同比31.3%増）となりました。これは主に、投資有価証券が7億10百万円、敷金及び保証金が3億34百万円および繰延税金資産が1億91百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は26億21百万円増加し239億53百万円（同比12.3%増）となりました。

（流動負債）

流動負債は19億56百万円増加し126億41百万円（同比18.3%増）となりました。これは主に、未払法人税等が5億9百万円、未払金が4億92百万円および1年内返済予定の長期借入金が3億90百万円増加したことなどによるものです。

（固定負債）

固定負債は1億75百万円減少し83億84百万円（同比2.0%減）となりました。これは主に、長期借入金が4億74百万円減少する一方で、資産除去債務が3億94百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は17億81百万円増加し210億26百万円（同比9.3%増）となりました。

（純資産）

純資産は83億91百万円増加し226億63百万円（同比58.8%増）となりました。これは主に、利益剰余金が26億27百万円、資本剰余金が18億51百万円および資本金が15億76百万円増加し、自己株式が20億18百万円減少したことなどによるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して75億5百万円の増加となり、137億54百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、94億57百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は57億37百万円の資金増加であり、37億19百万円増加額が増えております。これは主に、未払金及び未払費用の増加額が12億37百万円、税金等調整前当期純利益が10億69百万円、減損損失が4億40百万円および棚卸資産の増減額で2億95百万円増えた一方で、法人税等の支払額が4億4百万円減ったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、63億17百万円の資金減少となりました。前連結会計年度は61億22百万円の資金減少であり、1億94百万円減少額が増えております。これは主に、有形固定資産の取得による支出が6億22百万円減った一方で、投資有価証券の取得による支出が6億93百万円および無形固定資産の取得による支出が2億1百万円増えたことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、44億10百万円の資金増加となりました。前連結会計年度は5億32百万円の資金増加であり、38億78百万円増加額が増えております。これは主に、株式の発行による収入が31億53百万円および自己株式の売却による収入が20億18百万円増えた一方で、長期借入れによる収入が20億60百万円および自己株式の取得による支出が11億18百万円減ったことなどによるものであります。

（４）今後の見通し

インバウンド需要が回復し輸出も堅調に伸び、好調な企業業績を背景に景気は更に上向くことが期待されています。一方で、雇用情勢の回復に追いつかぬ所得水準の停滞により、引続き個人消費の伸び悩みが懸念されます。各セグメント別の次期の見通しは、以下のとおりであります。

【カラオケ】

国内市場においては、熾烈化する生き残り競争を勝ち抜くために、首都圏を中心に店舗数の拡大に精力的に取り組むと共に、各顧客層への施策の整備を更に進めます。

接客サービスにより注力する為のシステム化・自動化に努めると共に、開発を伴う新しいサービスの創造に挑戦してまいります。

海外市場においては、人口増加による余暇サービス市場の拡大が進む東南アジア諸国に焦点を絞り、其々の国の市場や事業環境の実情に沿った形で個別かつ具体的に展開を進めてまいります。

これらの施策により、カラオケセグメントの売上高320億95百万円（当連結会計年度比8.4%増）を見込んでおります。

【カーブス】

急激に進む高齢化社会において、健康寿命の延伸という目的に貢献していく為には、現時点で目論見可能な出店店舗数ではまだまだ不十分であると考えます。

運動の重要性をあまり意識しない方々に運動習慣の大切さを理解して身につけて頂く手法の開発と、市場を更に深掘りできる為のカーブス本部並びに各加盟企業の経営力の強化に加えて、健康維持のために住民の運動習慣を広めることを目指す地方自治体との連携を拡げることにより、店舗数と会員数の一段高い拡充に努めてまいります。

これらの施策により、カーブスセグメントの売上高255億29百万円（当連結会計年度比7.6%増）を見込んでおります。

【温浴】

飲食メニューの充実や滞在時間を延ばすためのスペース確保等、顧客満足度を高めていく各種施策の展開と、更なる省エネ化施策の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。

これらの施策により、温浴セグメントの売上高16億52百万円（当連結会計年度比0.9%増）を見込んでおります。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は3億36百万円（当連結会計年度比7.7%増）を見込んでおります。

以上により、平成30年8月期通期の連結業績につきましては、売上高596億12百万円（当連結会計年度比7.8%増）、営業利益73億13百万円（同19.0%増）、経常利益73億6百万円（同15.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40億36百万円（同24.0%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および海外への事業展開の進展状況を踏まえながら、国際会計基準の適用について、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当連結会計年度 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,304,164	13,785,094
受取手形及び売掛金	2,725,682	3,021,695
商品	938,063	900,386
原材料及び貯蔵品	215,763	196,282
繰延税金資産	317,030	434,772
その他	1,724,413	1,418,940
貸倒引当金	△39,263	△20,104
流動資産合計	12,185,854	19,737,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,046,933	20,574,705
減価償却累計額	△7,965,183	△8,857,968
建物及び構築物（純額）	10,081,749	11,716,737
車両運搬具及び工具器具備品	9,790,595	10,437,806
減価償却累計額	△7,141,165	△7,365,776
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,649,429	3,072,030
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産	538,486	538,486
減価償却累計額	△455,186	△489,248
リース資産（純額）	83,299	49,238
建設仮勘定	22,035	6,310
有形固定資産合計	14,802,432	16,810,233
無形固定資産		
のれん	1,429,342	1,034,950
ソフトウェア	899,868	601,509
その他	32,013	33,861
無形固定資産合計	2,361,224	1,670,321
投資その他の資産		
投資有価証券	494,009	1,205,029
長期貸付金	567,753	613,541
長期前払費用	74,227	59,526
敷金及び保証金	2,674,361	3,008,647
繰延税金資産	265,830	457,433
その他	108,145	163,327
貸倒引当金	△16,475	△34,959
投資その他の資産合計	4,167,853	5,472,548
固定資産合計	21,331,510	23,953,103
資産合計	33,517,364	43,690,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 8 月31日)	当連結会計年度 (平成29年 8 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146,556	2,193,275
1年内返済予定の長期借入金	2,964,912	3,355,738
リース債務	47,400	33,289
未払金	853,130	1,345,766
未払費用	1,011,689	1,124,858
未払法人税等	1,006,955	1,516,796
賞与引当金	246,544	334,518
預り金	1,659,939	1,728,024
その他	747,930	1,009,693
流動負債合計	10,685,059	12,641,960
固定負債		
長期借入金	6,855,752	6,381,710
リース債務	55,983	23,286
繰延税金負債	171,367	119,680
資産除去債務	1,233,584	1,628,153
その他	242,845	231,581
固定負債合計	8,559,532	8,384,411
負債合計	19,244,591	21,026,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	2,070,257
資本剰余金	483,600	2,335,577
利益剰余金	14,834,131	17,461,291
自己株式	△2,319,401	△301,401
株主資本合計	13,491,930	21,565,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,255	34,907
為替換算調整勘定	46,229	59,659
その他の包括利益累計額合計	65,484	94,567
非支配株主持分	715,358	1,003,506
純資産合計	14,272,773	22,663,798
負債純資産合計	33,517,364	43,690,171

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	51,170,002	55,283,582
売上原価	38,612,284	40,826,941
売上総利益	12,557,717	14,456,641
販売費及び一般管理費	7,747,544	8,310,171
営業利益	4,810,172	6,146,469
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,809	8,673
為替差益	-	79,915
店舗移転補償金	-	73,259
協賛金収入	30,074	59,212
その他	119,600	110,191
営業外収益合計	171,484	331,252
営業外費用		
支払利息	31,530	23,418
株式交付費	-	26,754
為替差損	177,926	-
その他	72,281	73,297
営業外費用合計	281,738	123,471
経常利益	4,699,919	6,354,250
特別利益		
固定資産売却益	104,831	16,214
特別利益合計	104,831	16,214
特別損失		
固定資産除却損	60,044	115,848
減損損失	106,641	546,790
特別損失合計	166,686	662,639
税金等調整前当期純利益	4,638,064	5,707,826
法人税、住民税及び事業税	2,449,277	2,524,106
法人税等調整額	27,545	△364,999
法人税等合計	2,476,822	2,159,107
当期純利益	2,161,241	3,548,718
非支配株主に帰属する当期純利益	261,065	293,148
親会社株主に帰属する当期純利益	1,900,176	3,255,570

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
当期純利益	2,161,241	3,548,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,940	15,652
為替換算調整勘定	△67,974	13,430
その他の包括利益合計	△75,915	29,082
包括利益	2,085,326	3,577,801
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,824,261	3,284,653
非支配株主に係る包括利益	261,065	293,148

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	493,600	483,600	13,480,094	△1,200,797	13,256,497
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当			△546,139		△546,139
親会社株主に帰属する当期純利益			1,900,176		1,900,176
自己株式の取得				△1,118,604	△1,118,604
自己株式の処分				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	1,354,037	△1,118,604	235,432
当期末残高	493,600	483,600	14,834,131	△2,319,401	13,491,930

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27,195	114,203	141,399	654,292	14,052,190
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当					△546,139
親会社株主に帰属する当期純利益					1,900,176
自己株式の取得					△1,118,604
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△7,940	△67,974	△75,915	61,065	△14,849
当期変動額合計	△7,940	△67,974	△75,915	61,065	220,582
当期末残高	19,255	46,229	65,484	715,358	14,272,773

(株)コシダカホールディングス (2157) 平成29年8月期決算短信

当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	493,600	483,600	14,834,131	△2,319,401	13,491,930
当期変動額					
新株の発行	1,576,657	1,851,977			3,428,635
剰余金の配当			△628,410		△628,410
親会社株主に帰属する当期純利益			3,255,570		3,255,570
自己株式の取得				-	-
自己株式の処分				2,018,000	2,018,000
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	1,576,657	1,851,977	2,627,159	2,018,000	8,073,794
当期末残高	2,070,257	2,335,577	17,461,291	△301,401	21,565,724

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	19,255	46,229	65,484	715,358	14,272,773
当期変動額					
新株の発行					3,428,635
剰余金の配当					△628,410
親会社株主に帰属する当期純利益					3,255,570
自己株式の取得					-
自己株式の処分					2,018,000
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	15,652	13,430	29,082	288,148	317,231
当期変動額合計	15,652	13,430	29,082	288,148	8,391,025
当期末残高	34,907	59,659	94,567	1,003,506	22,663,798

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,638,064	5,707,826
減価償却費	3,355,455	3,570,980
減損損失	106,641	546,790
のれん償却額	457,114	437,717
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,418	87,974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,095	△675
受取利息及び受取配当金	△21,809	△8,673
支払利息	31,530	23,418
有形固定資産売却損益 (△は益)	△104,831	△16,214
売上債権の増減額 (△は増加)	△467,404	△294,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△236,897	58,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	323,439	45,522
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△434,423	803,050
その他	395,763	434,088
小計	8,076,157	11,395,985
利息及び配当金の受取額	21,809	8,673
利息の支払額	△31,443	△23,315
法人税等の支払額	△2,328,625	△1,923,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,737,896	9,457,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,601,508	△4,978,676
有形固定資産の売却による収入	111,730	16,283
無形固定資産の取得による支出	△198,636	△400,476
投資有価証券の取得による支出	△164	△693,875
投資有価証券の売却等による収入	4,575	3,603
敷金及び保証金の差入による支出	△308,536	△323,681
敷金及び保証金の回収による収入	53,919	16,232
貸付けによる支出	△219,509	△51,012
貸付金の回収による収入	50,610	27,788
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,006	28,535
その他	△12,758	38,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,122,284	△6,317,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,560,516	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△3,086,968	△3,583,216
株式の発行による収入	-	3,153,315
自己株式の取得による支出	△1,118,604	-
自己株式の売却による収入	-	2,018,000
リース債務の返済による支出	△76,291	△44,115
配当金の支払額	△546,139	△628,410
非支配株主への配当金の支払額	△200,000	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	532,512	4,410,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,756	△45,928
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	107,368	7,505,291
現金及び現金同等物の期首残高	6,142,225	6,249,594
現金及び現金同等物の期末残高	6,249,594	13,754,885

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

（１）報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、持株会社制を導入しており、持株会社である当社の下、各子会社は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、下記の４区分を報告セグメントとしております。

（２）各報告セグメントに属するサービスの種類

①「カラオケ」はカラオケボックス店舗の運営を行っております。

②「カーブス」はフィットネスフランチャイズの運営及びフィットネスクラブ”カーブス”店舗の運営を行っております。

③「温浴」は温浴施設の運営を行っております。

④「不動産管理」は賃貸等不動産の管理を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(株)コシダカホールディングス(2157) 平成29年8月期決算短信

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	27,643,226	21,667,838	1,552,183	306,754	51,170,002	-	51,170,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	27,643,226	21,667,838	1,552,183	306,754	51,170,002	-	51,170,002
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,170,929	4,235,663	77,327	98,850	5,582,770	△772,597	4,810,172
セグメント資産	16,808,082	10,560,613	614,772	3,741,654	31,725,123	1,792,241	33,517,364
その他の項目							
減価償却費	2,891,023	224,877	101,900	80,834	3,298,635	56,820	3,355,455
のれんの償却額	453,551	3,212	-	350	457,114	-	457,114
減損損失	106,641	-	-	-	106,641	-	106,641
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	5,105,250	306,208	92,888	125,589	5,629,937	30,972	5,660,909

- (注) 1. セグメント利益の調整額△772,597千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額1,792,241千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株)コシダカホールディングス（2157）平成29年8月期決算短信

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	カラオケ	カープス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	29,614,188	23,720,110	1,637,206	312,077	55,283,582		55,283,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-		-
計	29,614,188	23,720,110	1,637,206	312,077	55,283,582		55,283,582
セグメント利益又は セグメント損失（△）	2,050,744	4,672,385	122,308	126,302	6,971,740	△825,270	6,146,469
セグメント資産	18,720,766	13,892,354	630,366	3,683,721	36,927,209	6,769,202	43,696,412
その他の項目							
減価償却費	3,124,421	236,324	84,984	82,484	3,528,215	42,765	3,570,980
のれんの償却額	436,365	1,351	-	-	437,717	-	437,717
減損損失	546,790	-	-	-	546,790	-	546,790
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	5,008,424	442,152	107,982	-	5,558,559	13,765	5,572,324

（注） 1. セグメント利益の調整額△825,270千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額6,769,202千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、余資
運用資金（現金及び投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自平成27年9月1日 至平成28年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自平成28年9月1日 至平成29年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自平成27年9月1日 至平成28年8月31日）

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自平成28年9月1日 至平成29年8月31日）

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自平成27年9月1日 至平成28年8月31日)

(単位:千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	453,551	3,212	-	350	-	457,114
当期末残高	1,426,302	3,040	-	-	-	1,429,342

当連結会計年度(自平成28年9月1日 至平成29年8月31日)

(単位:千円)

	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	全社・消去	合計
当期償却額	436,365	1,351	-	-	-	437,717
当期末残高	1,033,261	1,689	-	-	-	1,034,950

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自平成27年9月1日 至平成28年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自平成28年9月1日 至平成29年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
1株当たり純資産額 755円09銭	1株当たり純資産額 1,065円46銭
1株当たり当期純利益金額 104円71銭	1株当たり当期純利益金額 174円50銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1. 株式給付信託 (J-ESOP) により信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております (前連結会計年度245,000株、当連結会計年度245,000株)。

また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (前連結会計年度245,000株、当連結会計年度245,000株)。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,900,176	3,255,570
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,900,176	3,255,570
期中平均株式数 (株)	18,146,929	18,656,514

(重要な後発事象)

該当事項はありません。